

令和8年3月定例会補正予算等の概要

1. 編成概要

今回の補正予算では、国の経済対策を有効に活用し、①学校施設の長寿命化と調理場の建設を推し進めるほか、②良好な都市基盤・交通基盤の整備や③地域経済の活性化などに取り組む。
また、本市の発展に必要な事業の財源確保に努める。

①学校施設の長寿命化と調理場の建設

こどもの安全・安心な教育環境を確保するため、市立の小学校9校と中学校1校で、長寿命化やバリアフリー改修等を進めるとともに、久米調理場と浮穴調理場を統合し、恵原町に(仮称)久谷学校給食共同調理場を整備する。

②良好な都市基盤・交通基盤の整備

生活道路の拡幅や無電柱化の推進など安全・安心な道路環境を一層確保するとともに、松山外環状道路(インター東線)や街路整備のための用地取得等を進める。また、円滑な公共事業の実施や災害復旧時の基礎資料等に活用するための地籍調査を行うほか、ため池を改修するなど良好な都市基盤・交通基盤を整備する。

③地域経済の活性化

新たな投資や雇用等を行った指定企業に企業立地促進奨励金を交付するとともに、木材加工を効率的に行う機械の導入を支援する。

そのほか、国の補助金を活用し、グループホーム等の施設を大規模修繕する費用を補助するとともに、将来の公共施設の更新などに必要な費用を基金に積み立てる。

また、令和7年度事業の繰越明許費補正を行う。

2. 主な事業 (国の経済対策関連事業は、事業名の先頭に●印)

(単位:千円)

① 学校施設の長寿命化・調理場の建設	
(1) ●小学校施設マネジメント事業	1,779,930
(2) ●中学校施設マネジメント事業	225,000
(3) ●(仮称)久谷学校給食共同調理場整備事業	91,200
(仮称)久谷学校給食共同調理場整備事業(継続費)	(R7~9年割額合計) 2,454,100
② 良好な都市基盤・交通基盤の整備	
(1) ●愛媛県土木建設負担金(街路)事業	13,600
(2) ●生活道路整備事業	108,000
(3) ●安全歩行空間整備事業(補助)	47,000
(4) ●街路・幹線道路整備事業(補助)	37,000
(5) ●松山港国直轄整備事業地元負担金	58,534
(6) 松山空港国直轄整備事業地元負担金	10,575
(7) ●地籍調査事業	165,846
(8) ●県営事業地元負担金事業	59,280
(9) ●ため池等整備事業	16,800
③ 地域経済の活性化	
(1) 松山市企業立地促進奨励金事業	182,067
(2) ●木材加工流通施設等整備事業	14,000
● 社会福祉施設防災設備等整備補助事業	22,036
・ 基金積立(公共施設マネジメント分)	500,000

3. 補正予算の総額

(単位:千円)

区分	3月補正額	累計	対前年同期伸率
一般会計	7,976,920	256,421,538	4.66 %
特別会計	83,033	151,295,163	△ 4.96 %
企業会計	—	50,946,900	△ 0.57 %
計	8,059,953	458,663,601	0.70 %
公債管理特別会計	—	17,747,600	
合計	8,059,953	476,411,201	